

喜ぶものであるとの挨拶をなしたのみで工場閉鎖問題に就ては何等言及しなかつたので尙十分工場長の眞意を確かめ而して引續き資格者のみは出勤するや否や(資格者は職工監督目であるから職工が居れば出勤する)などにつき協議してある。

検事の取調

因島争議に關係した治安上の問題につき其旨の調査は愈々擴大し廣島地方裁判所阿部検事正は宮重末長、小山田検事の外に廿日呉支部の本林検事も出張し廿日朝来争議団參謀九名を召喚し此他争議団支部幹部その取調を續行してある、事件の内容は工場出場者に對する暴行脅迫學童休校問題に對する使噉運動から起つた治安警察法らしい。

各地の争議に對し一萬日の軍資金と数名の

應援者請求 関西總同盟から中央本部へ

目下全国の労働運動界は三池、因島争議の深刻化を始め阪神電車も既

記の如く嘆願書を提出してその回答を待つてある有様であるがこれが總本部たる労働總同盟関西同盟會では十九日夜神戸京都市から各役員參事理事會を開き至急東京で最高委員會を開き一萬日の争議費と数名の應援者を関西方面に派遣する事等を中央本部に請求した、尚廿日午後六時半から大阪天王寺公會堂で淡野製鋼三池、因島、日本紡、阪神其他各所の争議団を一括した全国労働争議報告會及び批判大演說會を開く由。

登校者漸く殖はる 因島三庄争議

因島労働争議の學童休校問題につき廿日は土生三庄兩校とも五十餘名登校者を増し漸時休校児童を減少する傾向にある、争議団では其後司直の手が擴大するので憤慨し自暴自棄に陥る幹部もあるが又十九日には大阪聯合會より三百廿日には大阪機械労働組合より二百五十日の寄贈あり又諸方より激勵電報が頻々と舞込んでゐる工場側の態度は敢て閉鎖を以て能事とするものでなく出場者があらば喜んで迎へる出場者なくとも一向構はぬといつた風である。